

平成 31 年 1 月 4 日
福岡管区気象台

2018 年（平成 30 年）の九州北部地方（山口県を含む）の天候

2018 年の九州北部地方の天候のポイント

- 2018 年は、冬は 32 年ぶりの低温、夏は 2013 年と並ぶ 1 位タイの高温と、極端な天候の 1 年となった。
- 特に 8 月は統計開始以降最も高温（1 位更新）で、かなりの少雨・多照となった。一方で 7 月上旬には「平成 30 年 7 月豪雨」により記録的な大雨となった

<季節毎の概況>

冬（2017 年 12 月～2 月）は、強い寒気に覆われることが多かったため、32 年ぶりの低温となった。

強い寒気に覆われることが多かったため、冬の平均気温の平年差は -1.3°C と低く、寒冬となった。特に 1 月下旬及び 2 月上旬は非常に強い寒気に覆われて、かなりの低温となった。

春（3 月～5 月）は、暖かい空気に覆われたため気温がかなり高くなった。

寒気の南下が弱く、期間を通して暖かい空気に覆われたため、春の平均気温の平年差は $+1.4^{\circ}\text{C}$ とかなり高かった。

夏（6 月～8 月）は、統計開始以降最も暑い夏。特に 8 月は統計開始以降最も高温で、降水量がかなり少なく、日照時間がかなり多かった。

太平洋高気圧や（上層の高気圧である）チベット高気圧の勢力が日本付近で平年に比べ強かったため、夏の平均気温の平年差は $+1.3^{\circ}\text{C}$ と統計開始（1946 年）以降で 2013 年と並び最も暑くなった。7 月上旬は、本州付近に梅雨前線が停滞し、南からの大量の湿った空気が流れ込んだため、記録的な大雨となった。8 月は高気圧に覆われたことや南東の風の影響を受ける時期もあり、平均気温が平年差 $+1.8^{\circ}\text{C}$ と統計開始（1946 年）以降最も高かったほか降水量も平年比 30%とかなり少なく、日照時間は平年比 132%とかなり多かった。

秋（9 月～11 月）は、9 月は湿った空気の影響で降水量が多く、日照時間はかなり少なかった。11 月は高気圧に覆われたため日照時間がかなり多かった。

9 月は、西日本付近に停滞する前線に向かって南から暖かく湿った空気の流れ込みにより降水量が平年比 159%と多くなり、秋の降水量の平年比は 116%と多かった。

12 月は、前線や寒気の影響を受け、曇りや雨の日が多かった。

前線や寒気の影響を受け、曇りや雨の日が多かったため、降水量は平年比の 153%と多く、日照時間は平年比の 75%とかなり少なかった。平均気温の平年差は上旬の季節外れの暖かさもあり、平年差 $+1.1^{\circ}\text{C}$ と高かった。

問合せ先：福岡管区気象台気象防災部
地球環境・海洋課 担当：川口
電話 092-725-3613（内線 3610） FAX 092-761-1726

＜九州北部地方（山口県を含む）の地域平均平年差・比＞

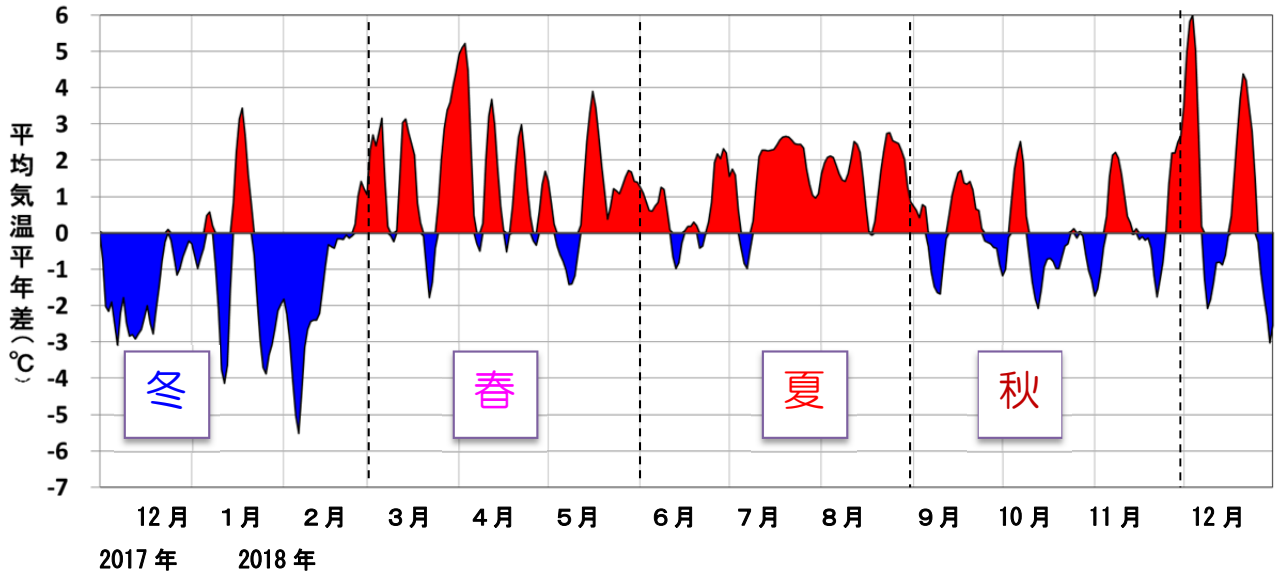


図1 九州北部地方の平均気温の地域平年差（5日移動平均）

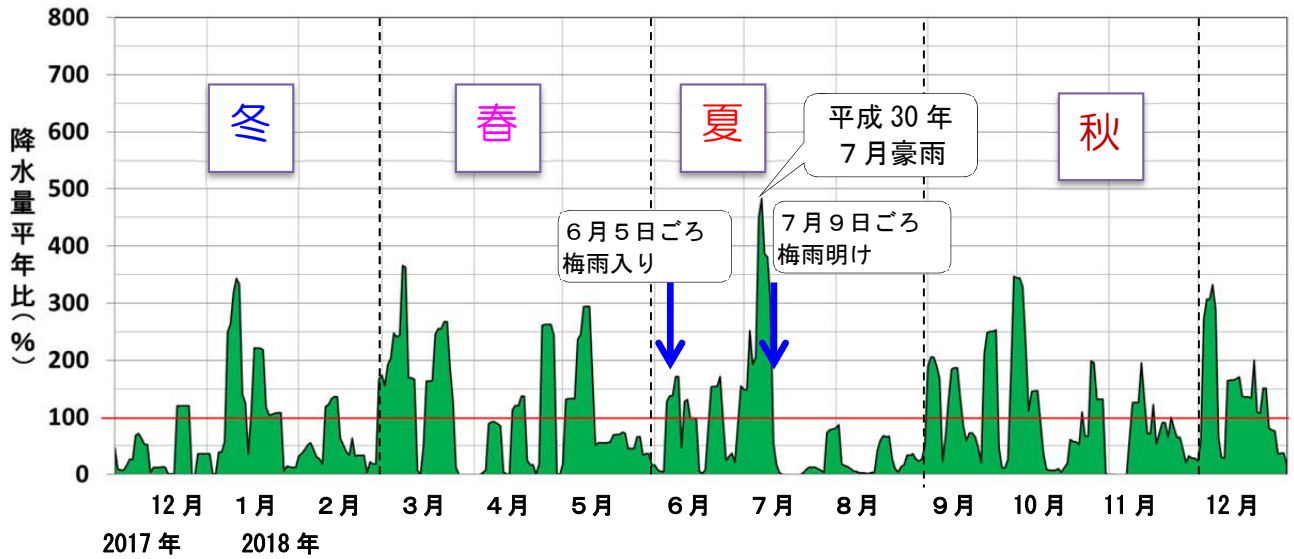


図2 九州北部地方の降水量の地域平均平年比（5日移動平均）

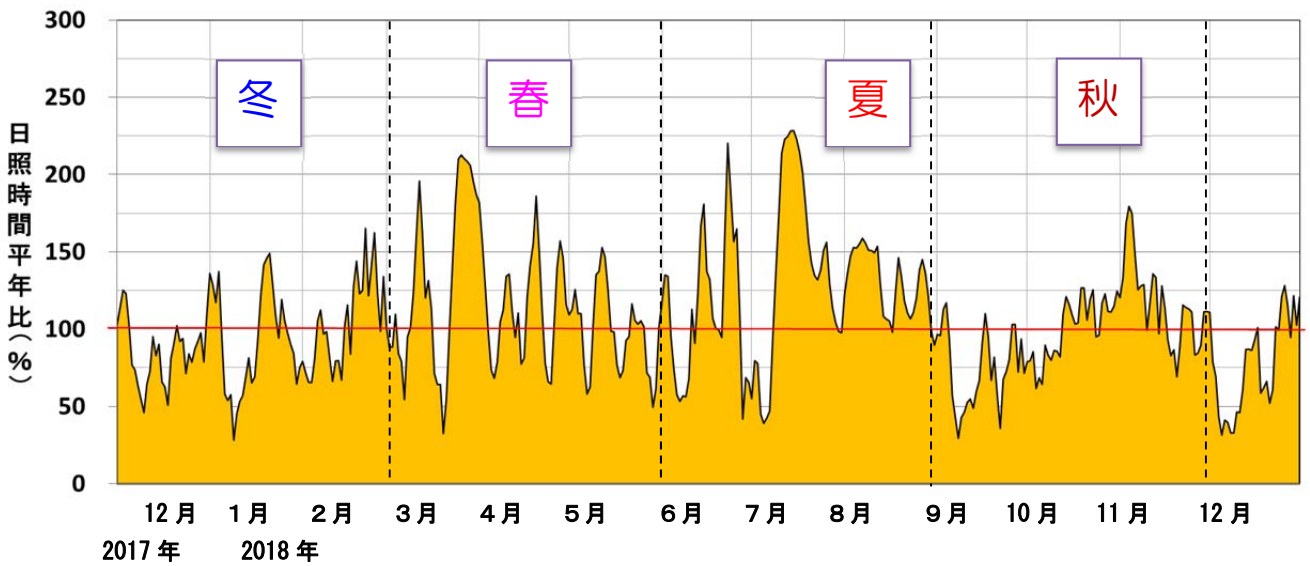


図3 九州北部地方の日照時間の地域平均平年比（5日移動平均）

表1 九州北部地方の平均気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）

	平均気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
2017年12月	かなり低い(-1.7)	かなり少ない(39)	少ない(86)
2018年1月	低い(-1.0)	多い(123)	平年並(96)
2月	低い(-1.4)	平年並(79)	平年並(103)
冬(12月~2月)※	低い(-1.3)	平年並(83)	少ない(95)
3月	かなり高い(+1.5)	多い(136)	かなり多い(130)
4月	かなり高い(+1.8)	少ない(83)	多い(116)
5月	かなり高い(+1.0)	平年並(106)	平年並(94)
春(3月~5月)	かなり高い(+1.4)	平年並(107)	多い(112)
6月	高い(+0.6)	平年並(103)	多い(114)
7月	かなり高い(+1.6)	平年並(118)	かなり多い(139)
8月	かなり高い(+1.8)	かなり少ない(30)	かなり多い(132)
夏(6月~8月)	かなり高い(+1.3)	平年並(92)	かなり多い(129)
9月	平年並(+0.2)	多い(159)	かなり少ない(73)
10月	平年並(-0.3)	平年並(74)	平年並(100)
11月	平年並(+0.3)	少ない(60)	かなり多い(121)
秋(9月~11月)	平年並(+0.1)	多い(116)	平年並(97)
12月	高い(+1.1)	多い(153)	かなり少ない(75)
2018年	高い(+0.6)	平年並(103)	かなり多い(109)

※冬は2017年12月から2018年2月までの期間

＜九州北部地方の梅雨の記録＞

梅雨入りは平年と同じ、明けは平年より10日早かった（表2）。

梅雨の時期の降水量（6月と7月の降水量の合計）の地域平均平年比は110%と平年並だった（表3）。

表2 2018年の梅雨入り・梅雨明け

地域	梅雨入り		梅雨明け	
	2018年	平年	2018年	平年
九州北部地方	6月5日ごろ (平年並)	6月5日ごろ	7月9日ごろ (早い)	7月19日ごろ

表3 九州北部地方の主な地点の梅雨期間の降水量
6月と7月の合計降水量

	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	平年値 (mm)
九州北部地方 (平年比110%)	下関	645.0	115	561.9
	福岡	733.5	138	532.7
	佐賀	732.5	108	677.5
	長崎	658.0	105	629.0
	熊本	663.0	82	805.7
	大分	574.0	109	526.3

＜九州北部地方（山口県含む）に接近・九州に上陸した台風＞（注1）

2018年（平成30年）の台風の発生数は、29個（平年25.6個）であった（表4）。

九州北部地方への台風の接近数（上陸数を含む、注2）は8個（平年3.2個）で、台風第7号、台風第12号、台風第15号、台風第19号、台風第20号、台風第21号、台風第24号及び台風第25号であった（表5）。

九州への台風の上陸数（注3）は2個で、台風第12号が7月29日に三重県伊勢市付近に上陸し、福岡県豊前市付近に再上陸したほか、8月15日に台風第15号が宮崎県日向市付近に上陸した（表6）。

表4 台風の発生数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
2018年	1	1	1	0	0	4	5	9	4	1	3	0	29
平年値	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

表5 九州北部地方への台風の接近数（注4）（注5）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
2018年	0	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	0	8
平年値				0.0	0.0	0.3	0.8	1.0	1.0	0.3			3.2

表6 九州（山口県を含む）への台風の上陸数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
2018年	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2

（注1）台風第27号以降は速報値のため、後日変更になる場合がある

（注2）「九州北部地方への接近」は台風の中心が九州北部地方の気象官署等から300km以内に入った場合を指す。

（注3）「九州への上陸」は台風の中心が九州（山口県を含む）本土の海岸線に達した場合を指す。

（注4）台風第12号が7月と8月にまたいで接近しているため、年間接近数と各月の合計数が一致しない。

（注5）値が空白となっている月は、平年値を求める統計期間内に該当する台風が1例もなかったことを示す。

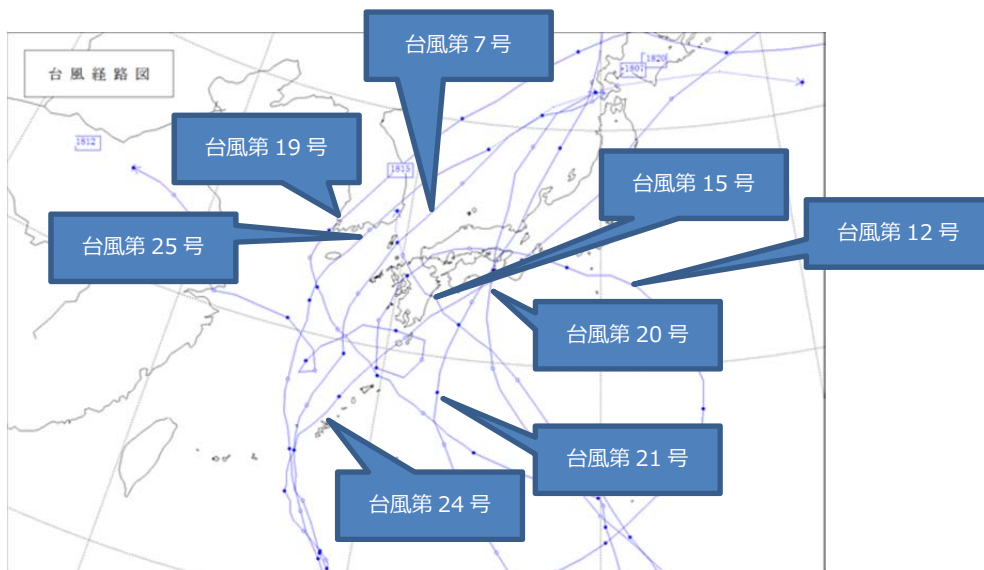


図4 九州北部地方（山口県を含む）に接近・上陸した台風経路図